



青南だより

令和3年11月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<思いがつながる喜び>

先日、表参道駅の方がこいのぼりや七夕飾りのお礼として、特製の塗り絵とカードをお持ちくださいました。熱心に話してくださいましたお陰で、初対面にもかかわらず子どもたちもすぐに打ち解けて、すてきな交流の時間となりました。そして翌日、年長児が何と「地下鉄ごっこ」を始めたのでした。熱い思いが伝わった証だと思えます。ありがとうございました。

また、青南小学校にお届けした作品展の様子は、玄関に飾って小学生も見てくれているそうです。直接会うことができなくても、地域の方々と思いにつながったうれしい出来事でした。

<「～してほしい」で伝わるのか?>

10月の大竹先生による園内研のご指導は、オンラインながら充実した協議ができました。研修がある日は園庭開放を休止させてもらっているお陰で、集中した協議会ができています。ご協力ありがとうございます。研究保育の指導案に「教師のねがい」という項目があります。私たちは幼児の実態を把握し、伸びようとしているところや課題を見付け、どんな手だてが必要かを考えます。普段の週案で書く「ねらい」とは少し違う視点ですが、文末が「～してほしい」となっていることについて再考してみる必要があるのではとご指導いただきました。

<学び続ける者だけが子どもの前に立てる>

私たちが「ねがい」として考えているのは、表面的な行動の変容ではなく、もっと深い部分の育ちを考えているのだと再確認することができました。幼稚園教育には、小学校のように教科書がありません。その分、日々の遊びや生活において的確な指導をするためには、丁寧な幼児理解を基に、一人一人と信頼関係を結び、集団を指導する力量も必要です。私たちは子どもたちの確かな育ちを支えるために、目の前の子どもたちから常に学び続けているのです。

青南の 二十四節気

・・・霜月(しもつき)・・・

立冬(7日)・・・裏庭の柿がおいしそうです・・・

小雪(22日)・・・紅葉も朱色に変わり始めるでしょうか・・・

裏庭の柿は、今年はすでに色付いており、子どもたちと例年よりも早めに収穫できそうです。さて、そろそろ園児募集の時期です。素晴らしい自然環境に恵まれた青南幼稚園の魅力をぜひ皆さんからも発信していただければ幸いです。幼稚園の様子は随時、ホームページのブログや小さなコラム「みちくさいたずらこどものじかん」などでお知らせしています。ぜひご覧いただければ幸いです。



東京メトロ表参道駅の方がこいのぼりや七夕飾りのお礼を届けてくださいました



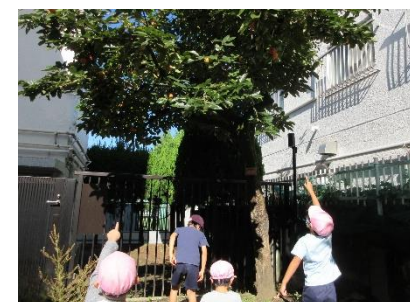
地下鉄の塗り絵などをいただいた翌日、なんと地下鉄ごっこが始まりました!



小学校には作品展の様子を写真で紹介しました



園庭のフェンスに伸びたブドウを収穫!



裏庭の柿が今年はまだ色付いています